

財政状況等を勘案すると、増便は困難である。②すでに地元から要望をいただいております。平成十八年度中、できる限り早い時期に対応していきたい。(企画課)

○その他の質問項目  
「障害者自立支援法にどのような対応するのか」ほか

**合併前の妻沼、大里の区長要望書について**

戸井田 邦夫 議員  
①合併前に受理した生活道路・排水路等の整備に関する区長要望書の対応は②要望事項の実施時期は、それぞれ伺いたい。

**答**

①要望書は、新市に對するものと受けとめ旧二町から新市へ引き継いでいるが、新市全体を見渡した中で、公平な判断のもとに対応していきたい。②今後の財政状況及び必要性、緊急性等を勘案しながら、各地域の均衡ある基盤整備が図れるよう努力していきたい。(道路課)

**観光事業への取組について**

牛込 志津江 議員  
国の重要文化財である妻沼聖天堂の大改修に

より熊谷市が一大観光地となる可能性がある。中心市街地活性化協議会の設置に向けた市の支援について伺いたい。



妻沼聖天山「貴惣門」

**答**

昨年、めぬまTMO推進委員会を立ち上げ、妻沼聖天山本殿を中心市街地活性化の鍵ととらえた周辺環境整備のコンセンサスづくりを進めている。また、国会で審議中の改正中心市街地活性化法案では、認定構想推進事業者について商工会議所や第三セクターのまちづくり会社を傘下に加える中心市街地活性化協議会の設置が求められており、同法の改正内容を見据えて対応できるよう努力していきたい。(商業観光課)

○その他の質問項目  
「休日・夜間急患診療の現状と

**新市における農業振興施策について**

鈴木 進 議員  
安心安全な農産物の生産のために、めぬま有機センターで生産される堆肥の利用を促進するべきと考えられているかが。

**答**

本市では、農協等の協力をいただきながら、化学肥料や農薬を五〇%以上少なくした安心・安全な特別栽培農産物の生産を推進している。土作りの観点からも有機堆肥の利用は有用であり、同センターで生産される良質な有機堆肥を活用し、高付加価値野菜としての差別化も視野に入れた、より一層の産地づくりと消費者へのPRに努めていきたい。(農業振興課)

○その他の質問項目  
「展示館(妻沼)の利用について」

**都市基盤整備について**

松本 貢市郎 議員  
平成十八年度予算案における土木費の割合は、十三年度に比べて約一〇%の減だが、今後の土木行政について市長の考えを伺いたい。

**答**

国体関連事業の完了等一時的に減少している。しかし、合併に伴う地域の連携強化や市民生活の向上に欠くことのできない生活道路等の整備については、厳しい財政状況ではあるが順次実施することとし、幹線道路等の整備については、合併特例債をできるだけ活用し、計画的に優先順位を定め、取り組んでいきたい。(管理課)

○その他の質問項目  
「学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)のある児童・生徒に対する本市の支援・指導の今後の方針について」ほか

**河川敷の野焼の支援及び手続きについて**

常見 勝 議員

**問**

河川敷の野焼は、埼玉県生活環境保全条例で、原則禁止されているが、禁止規定の適用除外として行われる際の支援窓口を市に設置できないか伺いたい。

**答**

野外焼却は、同条例で原則禁止されているが、国または地方公共団体がその施設管理を行うために必要な焼却等は、禁止規定の適用除外になる。野外焼却の実

**今後のまちづくりの方向性について**

竹井 一正 議員

**問**

地域の自然や歴史、文化等、足元にある人材や資源を活用し、持続可能で内発的な発展を目指すまちづくりについて市長の考えを伺いたい。

**答**

地域の人材や資源等の内なる力を最大限引き出すために、市民との協働という考え方が高まっている。こうした状況を踏まえ、旧熊谷市で設置してきた校区連絡会を大里、妻沼地域にも設置することや、まちづくり基本条例の制定等における市民委員の参加により、内発的な発展を目指したまちづくりを可能にしていきたい。(企画課)

○その他の質問項目  
「教育行政について」ほか

**妻沼西部工業団地への企業の進出状況について**

森 新一 議員

県企業局が造成した妻沼西部工業団地について①企業誘致の状況は②仮に企業誘致が完了した場合の税収額は、それぞれ伺いたい。

**答**

①同工業団地の分譲総数は二十五区画、分譲対象面積は約三十四ヘクタールで、本年二月末現在、分譲済が七区画、分譲率は約三六・五%である。こうした状況を踏まえ、本市では合併を機に新たに産業振興課を設置し、県や県企業局と協力して企業誘致活動を積極的に進めている。②固定資産税や法人市民税等、概ね五億円程度が見込まれる。(産業振興課)

○その他の質問項目  
「元気な街熊谷を目指す観光事業について」ほか

**健康スポーツセンターの利用促進策について**

磯崎 修 議員

荒川南部環境衛生一部事務組合の健康スポーツセンターについて①利用状況は②起償償還額は③維持管理経費は④今後の利用促進策

は、それぞれ伺いたい。



健康スポーツセンター内の室内プール

**答**

同組合に確認したところ①一日当たりの利用者は約九十七人である。②起償償還額は元利合計で約六億五千万円であり、現時点で本市の負担は四四・六%である。③維持管理経費は約七千九百九十万円であり、使用料収入約千九十万円を差し引いた約六千九百万円を本市と江南町で負担する。④市内循環バスの乗入等について同組合に伝えていく。(環境衛生課)

○その他の質問項目  
「合併特例債の発行予定について」

**熊谷市立三尻小学校区域の見直しについて**

新井 清次 議員

**問**

児童数や籠原中央第二土地区画整理事業の完

了を考慮して、籠原小学校と三尻小学校の通学区の見直しを行うべきと思うかが。

**答**

籠原小学校区では、開発による人口の増加が当初の見込みを下回ったため、現在、三尻小学校や新堀小学校区への通学区を見直す必要はないと考えている。しかしながら、同土地区画整理事業において、平成十九年度に町字等の変更が行われる予定であるため、現在の三尻小学校と籠原小学校の区域の境界を現状の道路等の分りやすい形で見直す必要があると考えている。(学校教育課)

○その他の質問項目  
「幹線第三号線の延長部分の早期着工について」

**市街地の道路と排水路の整備について**

橋本 勝三 議員

**問**

熊谷市と旧大里町当時大きく異なる。そこで、大里地区の道路整備等に対する今後のビジョンを伺いたい。

**答**

幹線道路を主体とする計画や市長の政策提言などを踏まえ整備に取り組んでいくこととしているが、生活道路

**第二北大通線について**

泉 二郎 議員

**問**

①メモリアル彩雲の南から国道四〇七号までの延伸計画と全線の進捗よく状況②周辺取付道路の整備について、それぞれ伺いたい。

**答**

①東武熊谷線跡地までの約四五〇メートルを第一期整備区間とし、平成十八年度は測量等を行う予定である。また、都市計画決定された全長六三三〇メートルのうち、四二五〇メートルを供用開始している。②生活道路は、無理なく幹線道路への出入りが可能となるような形状とし、交通量の多い幹線道路等は、警察との協議により、交差道路の整備が必要となる場合もある。(道路課)

○その他の質問項目  
「新たな経営所得安定対策」

**テクノグリーンセンター建設予定地の県・市の動向について**

笠原 秀雄 議員

**問**

①現在の状況は②有識者等を含めた検討結果と市長への提言、関係機関との連携は、それぞれ伺いたい。

**答**

①事業主体の県は、当初の計画のとおりでは、整備困難との意向を示しているが、地元の本市としては、暫定活用を含め、商業施設や企業等の立地を積極的に働きかけていきたい。②県が大型公共事業の抑制方針に転じる中、本事業の推進が困難となり、平成十六年度以降、検討会が開催されていない。そのため、まちづくり機関等との連携をはじめとした庁内での具体的検討には至っていない。(産業振興課)

○その他の質問項目  
「防犯灯の管理と合理化について」

**公共施設の利用について**

大山 美智子 議員

**問**

平成十八年九月の旧熊谷市議会で質問した、公共施設の貸出申請手続期間の前延ばしについて、その後の検討、改善点を伺いたい。